

再 評 価 調 査 書

I 事業概要						
事業名	道路事業					
地区名	主要地方道 <small>おかざきあすけ</small> 岡崎足助線					
事業箇所	岡崎市 <small>いわづ</small> 岩津町					
事業のあらまし	<p>主要地方道岡崎足助線は、岡崎市中心部を起点として、東海環状自動車道松平IC付近を通過し、愛知県有数の観光地である豊田市足助町に至る重要な路線である。</p> <p>本路線周辺では並行する国道248号等で慢性的に渋滞が発生しているとともに、宅地開発や商業・産業拠点の立地が進み、交通需要が増加している。</p> <p>このため、岩津地域で進展している宅地や産業拠点の開発を支える「国際競争力を強化する基盤整備」、観光地への公共交通アクセスの交通混雑解消を図る「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」を主な目的として、主要地方道岡崎足助線(岩津町～仁木町)のバイパス整備を進めており、バイパスの整備効果をより発現するために現道との接続部の道路改良を行うものである。</p>					
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>① 陸・海・空一体の国際競争力の強化</p> <p>② 地域の活性化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事業採択時 (1989年度)	再評価時 (1回目) (2016年度)	再評価時 (2回目) (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	1989年度 ～2019年度	1989年度 ～2019年度	1989年度 ～2026年度	用地取得に時間を要したため(+7年)	
	事業費(億円)	5.0	5.0	5.0		
	経費内訳	工事費	1.8	1.8	1.8	
		用補費	2.5	2.5	2.5	
その他		0.7	0.7	0.7		
事業内容	道路改良 延長 L=0.2km 幅員 W=16m	道路改良 延長 L=0.2km 幅員 W=16m	道路改良 延長 L=0.2km 幅員 W=16m			
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該路線と並行し一部で重複区間が存在する国道248号において慢性的な交通混雑(交通量13,824台/12h、混雑度1.91 昭和63年時点)が発生し、交通に支障が生じていた。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>① 陸・海・空一体の国際競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該事業区間が位置する岡崎市岩津地域は、近年、宅地開発とともに産業拠点(花園工業団地)への自動車関連産業等の進出など、持続的に開発が進展している。 当該路線と並行する国道248号の矢作川渡河部周辺には岡崎市と豊田市間の通勤・物流交通が集中し、慢性的な交通混雑(交通量15,455台/24h、混雑度1.13 令和3年時点)が発生している。また、当該路線と国道248号が重複する区間に位置する北於御所交差点は地域の主要渋滞箇所指定され、通行に支障が生じている。 <p>② 地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内屈指の紅葉狩りの名所、豊田市足助地区の香嵐溪への公共交通機関によるアクセスでは、東京方面からは主要駅である東岡崎駅を発着とする路線バスが最短であり、主要 				

	<p>地方道岡崎足助線がバスルートとして利用されている。</p> <p>・近年、香嵐渓では景観整備等の事業を実施するとともに通年観光需要の増加に向けた様々な取組を実施し、紅葉シーズンオフ期間における観光入込客数は平成 18 年から平成 26 年にかけて 1,651 人から 10,516 人へと増加している。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>・周辺開発の進展や地域の主要渋滞箇所の存在、主要観光地への公共交通アクセスである路線バスが当該路線を利用していることなど、引き続き必要性がある。</p>																																																																																																																																															
判定	<p>A</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <p>必要性の変化について検証を行った結果、岩津地域では宅地開発や産業拠点等の開発が進展しており、また、主要渋滞箇所が観光地へのバスルートとして利用されていることから、着手時に比べ必要性が増大していると認められるため。</p>																																																																																																																																															
1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>1989~2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="10">←————→</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td></td> <td colspan="5">5.0</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td colspan="5">1.5</td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td> <td colspan="5">1.5</td> <td colspan="2">3.5</td> <td></td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.2</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.2</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>5.0</td> <td>1.5</td> <td>30%</td> <td>5.0</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.8</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>1.8</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>2.5</td> <td>1.2</td> <td>48%</td> <td>2.5</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.7</td> <td>0.3</td> <td>43%</td> <td>0.7</td> <td>43%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地取得の一部を先行予算で実施しており、面積ベースの用地取得率は約97%</p>			1989~2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種区分	調査・設計	←————→										用地補償						←————→					工事							←————→				・土工											・舗装工											事業費(億円)	当初計画		5.0					—			5.0	実績		1.5								1.5	今回計画		1.5					3.5			5.0		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.2	0.0	0%	0.2	0%	事業費(億円)	5.0	1.5	30%	5.0	30%	工事費	1.8	0.0	0%	1.8	0%	用補費	2.5	1.2	48%	2.5	48%	その他	0.7	0.3	43%	0.7	43%
		1989~2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計																																																																																																																																					
工種区分	調査・設計	←————→																																																																																																																																														
	用地補償						←————→																																																																																																																																									
	工事							←————→																																																																																																																																								
	・土工																																																																																																																																															
	・舗装工																																																																																																																																															
事業費(億円)	当初計画		5.0					—			5.0																																																																																																																																					
	実績		1.5								1.5																																																																																																																																					
	今回計画		1.5					3.5			5.0																																																																																																																																					
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																												
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																											
延長(km)	0.2	0.0	0%	0.2	0%																																																																																																																																											
事業費(億円)	5.0	1.5	30%	5.0	30%																																																																																																																																											
工事費	1.8	0.0	0%	1.8	0%																																																																																																																																											
用補費	2.5	1.2	48%	2.5	48%																																																																																																																																											
その他	0.7	0.3	43%	0.7	43%																																																																																																																																											
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・用地交渉に不測の日時を要したため。</p>																																																																																																																																															
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>・地元より早期整備要望が出されており、大きな阻害要因はない。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>・2026年度までに整備が完了する予定である。</p>																																																																																																																																															

②事業の進捗状況及び見込み

判定	<p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期延伸は行ったが、事業は順調であり、2026年度までに整備完了が見込まれるため。
III 対応方針	
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度 	